



No.150 December.2020

TODAY'S TOPIC

空っ風

かかあ天下と空っ風

本格的な冬を向かえ北風が強い日も増えてきました。

この強い北風は季節風の一つで、特に関東地方や東海地方では「空っ風」と呼ばれることがあります。群馬県の「赤城おろし」や静岡県「遠州のからっ風」が有名です。

中でも群馬県では上州名物として「かかあ天下と空っ風」という言葉があるほど。

この言葉の由来は、空っ風（赤城おろし）が吹く寒く厳しい自然環境と土地の貧しさからか、古くから養蚕や絹織物産業が発達していた群馬県。こうした仕事は主に女性がおこなっていたため、懸命に働く女房を見て、男同士が集まっては自分の女房を自慢し合ったそう。そしてそれを見た他県の住民がからかったことから名付けられたといわれます。



空っ風のメカニズムとは？

冬になるとシベリアから日本海を渡って湿気を含んだ北西の季節風が日本に向かって吹き付けてきます。このとき日本列島の日本海側に雪を降らせ水分を失った風は上越国境などの山脈を越え、太平洋側へ吹き下りてきます。この冷たく乾いた風のことを空っ風と呼ぶのです。

～ 地域ごとの空っ風の呼び名～

- 赤城おろし……………群馬県
- 筑波おろし……………茨城県
- 那須おろし……………栃木県
- 遠州のからっ風 ……静岡県



From the author



東京に住んでいると届くころにはかなり弱まっているのかなあ…。